

## 吉和さくらバスにおける貨客混載事業の実証実験の結果報告について

## 1 実証実験の内容

別紙1「貨客混載事業における周知チラシ」のとおり。

## 2 実証実験の結果

- ・ 運送実績 1件
- ・ 実績区間 さいき文化センター～吉和ふれあい交流センター
- ・ 利用者 津保美堂（佐伯地域）⇒中澤商店（吉和地域）



積み込みの様子



実証期間中の座席



中国新聞記事（R7.10.3付）

## 3 実証実験において把握された課題及び課題解決に向けた方向性（利用者聞き取り）

## 【課題】

- ① 事前予約の必要性  
⇒当日配送したいものが急に発生しても、事前予約が必要なことから利用出来なかった。
- ② 運行時刻の制約  
⇒バスの運行時刻に合わせて本人が積み込みし、相手が受け取る必要があり、商売をしているなかでは、時間を合わせるのが難しい。
- ③ バスへの積み込み・受け取りの負担  
⇒バス停に持参するのではなく、どこかで受け取り、預かりをしてもらえるような代理窓口があれば使いやすい。
- ④ 配送品の種類の制約  
⇒食料品・日用品だけでなく、郵便物等、配送可能な貨物の種類が増えれば、事業者だけでなく、地域の人も利用のハードルが下がると思う。

## 【課題解決の方向性】

現在の運用では、上記のような課題から利用者の利用機会を逃していることがわかった。予約不要での配送や、預かり、受け取りの代理窓口の設置検討、配送物の種類の拡充などが課題解決に繋がるのが推測される。

## 4 今後の方向性

5ヶ月間の実証実験の結果、利用回数は1回であった。実証実験の周知は、市ホームページや新聞記事への掲載などにより行ったところであるが、地域に十分情報が行き届いていなかった可能性も考えられる。また、利用者からの聞き取りで見えてきた課題の解決に向け、運行事業者と調整を図りながら、要領の改正や運用の変更などに向け、検討を行う。

4月から6月はこれらの準備期間とし、6月以降には整理した内容で更なる周知活動（商工会等への事業紹介や市民センターだよりへの掲載等を想定）を行うなど、利用者や事業者への利用促進を行う。

10月から第2期実証実験を行うものとし、本格運行への移行は次期実証実験の結果をもって判断することとする。

## 5 スケジュール

令和8年4月～6月	要領改正や運用変更等の準備
令和8年7月～9月	商工会等への事業紹介、市民センターだより等掲載
令和8年10月～令和9年2月	第2期実証実験（5ヶ月間）
令和9年3月	検証・本格運行準備
令和9年4月～	本格運行（予定）

あなたのその荷物・・・

# バスで配送してみませんか？



吉和さくらバスでは、バスの空席を活用し、  
荷物を配送する実証実験を行っています！

## ✓ 運行区間

津田（さいき文化センター等）～  
吉和（吉和ふれあい交流センター）間

## ✓ 運行期間

令和7年10月1日～令和8年2月末

※めがひらスキー場の営業期間中の土休日は配送は行いません。

## ✓ 配送料金

150円／1座席

※1便／2座席を上限とし、食料品や日用品に限り配送します。

## ✓ 受付開始日

令和7年9月16日（火）から利用申請を受付開始

お問い合わせ・利用申請はこちら

廿日市市役所 交通政策課

☎ 0829-30-9178

✉ kotsuseisaku@city.hatsukaichi.lg.jp

